平成27年度宮崎県立高鍋高等学校　学校評価書

学校経営ビジョン

一人ひとりが輝いて燈めく未来を切り拓こう（古豪復活）

・人権、規範意識の醸成を基礎に、夢や希望に向かってひたむきに自己を高めることを通して、創立90周年の伝統を継承し、新たな一歩を踏み出す。
・地域に開かれた信頼される学校づくりに邁進すると同時に、地域に貢献し県内外はもとより、世界に羽ばたく人材を育成する。

◎評価基準　4：十分達成できた　3：概ね達成できた
2：やや期待を下回る　1：不十分であり改善を要する
◎1ページ目の学校の重点目標4項目に関する評価は、2ページ以降の、各校務分掌等の関係項目の評価値を平均したものである。

目指目指す学校像

(1)生徒一人ひとりを大切にし、熱心で親切な指導が展開される学校

(2)いじめや差別のない、支え合い、高めあえる集団としての学校

(3)保護者・地域・学校が協力し合い、地域から信頼される学校

(4)成果と実績が確実に伸びる学校

目指す教師像

(1)生徒一人ひとりの話に耳を傾け、生徒の良さと可能性を限りなく伸ばす教師

(2)チームワークを大切に、忙しいけれどやりがいのある職場づくりに専念する教師

(3)高度な倫理観を持ち、学び続けることによって、教師としての力量を常に高め合う教師

目指す生徒像

(1)夢や希望に向かって、自分を信じ、仲間を信じ、負けない気持ちとあきらめない精神力とで、常に挑戦する生徒

(2)何時でも何処でも挨拶をすることができ、「ありがとう」「ごめんなさい」が素直にいえる生徒

(3)幅広い教養を身に付け、学力と体力を高め、心を磨き、社会に貢献しようとする生徒

重点目標	評価項目	具体的方策または指標	自己評価	成果と課題	学校関係者評価	評価・具体的意見
1　確かな学力の向上と進路実現	学力の向上	①自宅学習の充実 ・生活の記録を活用した基本的生活習慣の定着 ・授業にリンクした日々の課題の作成 ・勉強開始時間の固定や学習時間帯の習慣化 ②定期考査の円滑な実施と欠点保有者の削減 ・計画的に学習する力の育成 ・学業と部活動のバランスを考えた行動 ・事前指導と学習定着指導の徹底 ③自習時間を減らすこと ・代講、振替、特編等での対応 ⑤基礎学力の定着 ・基礎学力養成講座の充実 ⑥国公立大学推薦AO入試合格率50% ・校外行事への積極的参加、ボランティア活動の推進 ・小論文指導及び面接指導の体系化 ⑦国公立大学一般入試合格率40% ・課外、土曜講座の充実 ・入試問題研究及び、組織的な指導体制の充実	3.0	● 成果 ・就職率6年連続100% ・国公立大学合格57名（3／15現在、現役生） H26（58）、H25（38）、H24（42）H23（46） ● 課題 ・自宅学習の充実と基本的学習習慣の確立 （携帯・スマホ利用に係る対策と保護者との連携） ・スーパーティーチャーを核とした学力向上・授業力向上委員会の設置	3.5	・国公立大学合格者数はここ2年伸びており、また高校入試の定員割れも解消したことは大変よいことである。何が要因であるかをしっかり検証し、来年度以降もこの状態を維持、増加していくことを期待する。 ・学力向上のための多くの手立てをしっかり行っており、このまま進めるとよい。これからはアクティブラーニングに対する対策が必要になってくると思う。 ・就職率及び大学合格者についても一定の成果が見られ、それぞれの指導に細やかな努力をしている事が感じられる。 ・大学へ進学する生徒達が将来を見据え、あるいは本当に進学したい学校に進学できるよう指導してもらいたい。 ・スマホ等については保護者を含め子どもにとって良いツールになるような指導をしてもらいたい。 ・スーパーティーチャーを設置することは他の教師にとっても大変勉強になるので、積極的に「良い授業」から多くのことを学び生徒に還元してもらいたい。 ・学力向上授業力向上委員会への設置について今後に期待したい。 ・キャリア教育も一層の充実強化をはかっていただきたい。
	授業力の向上	①研究授業参観率の向上 ・教科を超えた参観と検討会の充実 ②「生徒による授業評価」の実施と対策 ・振り返りシートの活用				
	キャリア教育の充実	①各種講演会、わくわく講座等の学校行事の充実 ・面談指導の充実と諸講演会の実施 ・大学視察や訪問の実施 ・オープンキャンパスへの参加（2年次） ・各専門学校の資格取得状況等の把握 ②就職指導の充実による就職率100% ・企業説明会等への積極的参加 ・新規企業の開拓				
2　文武両道の推進と自主的自律的自己の確立	部活動、学校行事、生徒会活動の活性化	①生徒自らが作り上げる鳴海ヶ丘祭、生徒の主体的な活動を促進する県高総文祭 ・生徒実行委員の活動の充実 ②部活動加入率80% ・新入生に対する部活動見学期間の設定 ③部活動の活性化 ・学校全体での応援の機運を高めるための各部の試合日程等の職員及び生徒への告知 ④けじめのある部活動 ・部活動の終了時間の徹底 ・下校指導の定期的実施	3.2	● 成果 ・部活動加入率92% ・ハイレベルな部活動実績 （ラグビー、ボート、ホッケー、剣道、放送、書道、美術、写真） ● 課題 ・主体的な生徒会活動の活性化	3.4	・部活動は今年度も十分な実績を残しており、鳴海ヶ丘祭などでは生徒達の主体的な姿も見られた。 ・部活動の成果は賞賛すべきものである。学力も同様に向上していくことを期待する。 ・加入率の高さも素晴らしいが、実績以上に部活動を通じて得る事が大切なので、今後も細やかな指導に期待する。 ・野球部の頑張りに期待する。設備、環境など他校に比べ恵まれているのでやれると思う。
3　豊かな心の醸成と基本的生活習慣の確立	心の教育の推進	①諸問題への対応 ・いじめや携帯スマホなどに関する問題への生徒会を中心とした対応 ②校外からの苦情ゼロ ・集会等での講話や指導、生徒会から訴える機会の設定 ③教育相談と連携を図り人権教育の充実 ・いじめをなくすためのクラス内でのピアサポート活動 ④心の健康の充実 ・保健室来室時における個別指導 ・保健便りによる家庭への啓発活動 ⑤読書指導の充実 ・貸出冊数1人平均10冊以上	3.1	● 成果 ・「元気な挨拶　素直が魅力」の定着 ・教育相談機能の向上 ・特別支援教育の推進（発達障がいに係る研修の充実） ・「正姿」の継続と読書指導の向上 ● 課題 ・いじめ、不登校、問題行動の防止と対策 （携帯・スマホ利用に係る対策と保護者との連携） ・特別支援教育（発達障がい等）の推進 ・読書活動の推進（ビブリオバトル等）	3.4	・携帯・スマホ利用の対策に関しては、授業の中で定期的・継続的に生徒自身に考えさせることによって、主体性、協働性、思考力、判断力などの学習につながるのではないか。 ・支援を必要とする生徒への適切なアプローチは、全教師が共通認識の下、対応するような体制づくりを目指すことを期待する。 ・特別支援教育に関しての取組は、大変よいので、これからも多くの生徒、PTAとの共有・推進を望む。 ・成果を見ての通り基本的生活習慣、挨拶等も気持ちが良く、特に今年の卒業式等の生徒の様子はとても姿勢も正しく感じた。 ・挨拶は本当に素晴らしい。発達障がいは人それぞれで違うので先生達の研修も必要だと思われる。 ・少人数とはいえ不登校・いじめ・問題行動等の問題は一人一人が切実な想いで抱える問題なので、学校としても重視して今後も考え取り組んで欲しいと思う。 ・いじめについてはアンケートの方法等これからも検討していただき、真に効果のあるものにしてもらいたい。 ・ピアサポート活動も生徒が中心になる事が重要だと思うが、専門的な立場の人が窓口になって寄り添うことで全体の意識も向上するのではと思う。
	健康安全教育の推進	①交通マナーの意識向上 ・PTAと警察による交通安全週間時の下校指導 ②校内駐輪場での自転車施錠率100% ③校外での自転車施錠の意識向上 ④教室施錠の意識向上 ・教室の施錠係への指導 ・移動教室時の施錠の徹底と貴重品袋の活用 ⑤全教育活動における安全教育の推進、危機管理体制の充実				
	基本的生活習慣の確立	①挨拶の飛び交う学校 ・正門や西門での挨拶運動の実施 ②学年団による遅刻指導 ③正姿による落ち着いた雰囲気の醸成 ④全職員による容儀指導の実施（定期考査時） ⑤問題行動のない学校 ・学年主任と教育相談との連携強化				
4　地域に開かれた信頼される学校づくりと情報の発信	地域・保護者及び小・中学校との連携強化	①「オープンスクール」の参加生徒数400人以上 ②「授業公開」を年2回実施しの参加人数300人以上 ③地域に貢献できる生徒の育成 ・生徒会執行部を中心とした地域のボランティア活動への積極的参加 ④PTAの各種研修の実施、昨年以上の参加の促進、奉仕作業での保護者300名以上の参加 ⑤職員・保護者の意思疎通と親睦の機会の設定 ・PTAレクレーションの実施	3.5	● 成果 ・入学志願者数の激増（7年ぶり） 探究コース　　2倍（推薦）、1．21倍（一般） 普通科　　1．08倍（推薦）、1．11倍（一般） 生活情報科　1．06倍（推薦）、1．29倍（一般） ・地域に開かれた学校への取り組み オープンスクール、学校公開、学力セミナー、出前講座（作文指導） 各種地域行事への積極的参加 ● 課題 ・中高連携の更なる推進 ・「明倫」やマスコミ等その他を活用した広報宣伝活動の充実 ・地域への積極的参加（行事、探究活動、地域課題解消への取り組み、主権者教育等）	3.7	・生徒達の元気なあいさつ、行事などでの積極的な活動をよく見かける。今後、朝の挨拶運動の小中学校への出張などの取組を行ってはどうか。 ・ボランティア活動への貢献も今後益々期待したい。 ・中高連携の学力アップ事業、作文教室等は今後も継続していただきたい。 ・今後もできる限り地域の方々との情報交換をして、学校運営に生かしてもらいたい。 ・この学校に行きたいと思わせるのは魅力ある学校にするかによる。キャリア教育がその一助にはなり得る。 ・近隣自治体に本校の活動報告や参加を呼びかける広報誌を自治会回覧板へ掲載できるよう依頼することも検討してはどうか。 ・Facebookなどを活用し、「攻め」の姿勢でアピールしてみてはどうか。
	広報活動の充実	①生徒、保護者、地域への情報発信 ・担任、学年、教務通信等による情報発信 ・広報紙「明倫」、ホームページ等の中身の充実				